

稻荷山公園ニュース

発行：練馬区土木部道路公園課

稲荷山公園の整備に関する詳細(創刊号・第2号・第3号・第4号含む)はコチラから



「稻荷山公園の整備に関する専門家委員会」にて検討を進めています

区では、専門的な見地から稻荷山公園の整備内容、自然環境の保全方法、段階的な整備の進め方（ロードマップ）等について検討するため、専門家委員会を設置しています。

これまでに9回の専門家委員会を開催しており、現在は稻荷山公園の整備に関するアイデアをもとに公園の将来像等の検討を進めています。

専門家委員会

・第8回（令和7年10月27日開催）【傍聴15名】

第8回および第9回では、平面イメージ図（案）や利活用（案）を踏まえた将来像について議論を行いました。

平面イメージ図（案）では、水辺空間の植生、周辺道路との接続や安全対策、公園に導入する施設との一体性の必要性等の意見が挙げられました。

また、利活用（案）を踏まえた将来像では、区民との協働運営の担い手や支援グループを構築する必要性や、資源循環の仕組みづくり等についての意見が挙げられました。

平面イメージ図（案）（第9回資料より）

「稻荷山公園基本計画（整備イメージ）」でお示しした「武蔵野の面影」の再生に向けて、区民との樹林地管理等での利活用を踏まえた将来像について検討しています。



第9回専門家委員会の様子



★専門家委員会における検討段階の資料です。記載の内容が今後変更となる場合があります。

裏面へ続く▶

カタクリ保全に関する取組について

令和7年7月中旬から8月下旬にかけて、清水山の森にあるカタクリ保全エリアの群生地において、土壤の乾燥化を防ぐために、雨水浸透施設の改良や枝落とし等の取組を実施しました。

こうしたカタクリ保全を目的とした取組による自然環境の変化について、照度や土壤調査等を通じて確認し、その効果を検証していきます。さらに、令和7年12月下旬には、カタクリ保全エリア前面の道路において、公園内に雨水を浸透させるための改良を行いました。

高木の枝落としにより発生した枝の一部を活用し、生き物のすみかとなるカントリーヘッジを設置しました。（写真1）

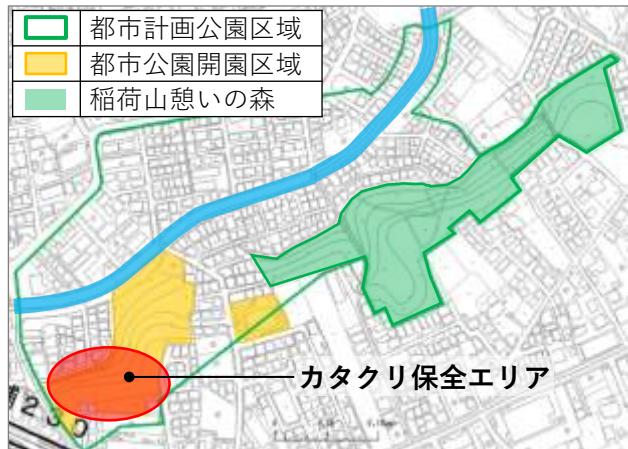
また、区民の方々には、苗木の育成等のみどりの保全に関する取組にご協力いただいています。

■カタクリ保全に向けた取組（報告）

（1）雨水浸透施設の改良

既存の雨水浸透施設を土のうを用いて、カタクリが生育する斜面上側の地表へ雨水が浸透するように改良しました。（写真2）これにより、雨水を直接生育地へ導くことが可能となります。

また、カタクリ保全エリア前面の道路に溜まる雨水も公園内に流し込めるように既存の施設を改良しました。カタクリ保全エリアに対して、より多くの水を浸透させます。



稲荷山公園 都市計画区域全体図

（2）蒸散抑制目的とした枝落とし

斜面上部にある樹木の枝落としを行い、地中からの吸水を抑えるとともに、日照を改善して実生が生長しやすい林床環境を創出します。



写真1：カントリーヘッジ



写真2：雨水浸透施設（施工後）

今後の進め方について

- 専門家委員会での検討内容を踏まえ、整備内容や段階的な整備の進め方（ロードマップ）等を引き続き検討していきます。
- 段階的な整備の進め方（ロードマップ）の作成にあたっては、今後も節目ごとに地域の皆様への周知を行い、ご意見を伺いながら進めていきます。

専門家委員会の開催結果・予定について

- 委員会当日の配布資料等は、開催結果をご確認ください。
- 開催通知は、開催日の概ね1～2週間前に傍聴の可否も含め、区HPにてお知らせします。



開催結果



開催通知